



日本林政ジャーナリストの会 令和5年度第4回研究会

「AI・ICT の活用とロボット化による林業 DX の実現」 ～時空間ツールによる地域林業経営 DX と事業デザイン～ 東京大学特任研究員・非常勤講師 仁多見俊夫氏

日時:令和5年10月11日(水) 16:00～18:00

場所:林友ビル(東京都文京区後楽 1-7-12) 6F 中会議室

林野庁は、「新しい林業」の実現に向けて、森林・林業基本計画や「林業イノベーション現場実装推進プログラム」に基づいて、ICT 等を活用して資源管理・生産管理を行う「スマート林業」やロボット化などの先端技術を活用した林業機械開発を推進しています。また、レーザ計測等による森林資源情報のデジタル化を通じて、標準化とクラウド化による「森林クラウド」を構築し、森林・林業のサプライチェーン・マネージメント(SCM)の確立することを目指しています。今回の研究会においては、林業機械や林業 DX の第一人者である東京大学特任研究員・非常勤講師の仁多見俊夫氏に、林業における AI、ICT の活用やロボット化の最先端技術の近況と、それが森林・林業・木材産業や山村地域とどのように関連するのかについてお話を伺います。非会員の方も参加可能です。

参加希望の方は、氏名、所属及び連絡先をご記入のうえで、**令和5年10月4日まで**に日本林政ジャーナリストの会幹事・事務局長の上河潔 (k.kamikawa@live.jp) までお申し込みください。



仁多見俊夫氏：

新潟県出身、東京大学大学院農学系研究科林学専門課程修了、農学博士、東京大学農学部助手、演習林助教授、秩父演習林長、スウェーデン農科大学及びカナダ林業工学研究所客員研究員、東京大学大学院農学生命科学研究科准教授を経て現職。森林林業コンサルタント Foralgo 代表